

平成 31 年 4 月 8 日

報道関係各位

一般財団法人キヤノン財団

## キヤノン財団 設立 10 周年を契機に研究助成プログラムを一新

一般財団法人キヤノン財団(所在地:東京都大田区下丸子 3-30-2、理事長:吉川弘之/日本学士院会員、東京大学名誉教授・元総長、以下「キヤノン財団」)は、2019 年度 4 月の募集より、研究助成プログラムを一新します。

### 【キヤノン財団の 10 年間の活動について】

キヤノン財団は、キヤノン株式会社の創立 70 周年を記念して 2008 年 12 月に設立され、科学技術の研究に対する助成・支援を行うことにより、人類の持続的な繁栄と幸福に貢献することを目的としています。

この 10 年間、「産業基盤の創生」と「理想の追求」という 2 つの研究助成プログラムを設け、全国の大学および大学院、大学共同利用機関、高等専門学校、その他公的研究機関等に勤務する研究者を対象に、研究助成を行ってきました。助成実績の累計は、二つのプログラムを合わせて、助成件数 163 件、助成額は約 28 億 3 千万円となりました。

### 【新しい研究助成プログラムについて】

2019 年度募集より、「善き未来をひらく科学技術」、「新産業を生む科学技術」という以下の二つの新しいプログラムを設定しました。

#### 1. 「善き未来をひらく科学技術」

未来社会の新しい価値を実現する、あるいは科学技術が発展する過程で生み出してきた課題を解決するための革新的な科学技術研究への助成を行います。研究者独自の視点、常識にとらわれない発想によって複雑化する課題の核心に迫るような研究に挑戦していただきます。環境、エネルギー、資源、情報、生命、安全、健康、食料などさまざまな領域が関係し、そこで生まれる複合的な課題が対象になることが想定されます。

#### 2. 「新産業を生む科学技術」

世の中でまだ認知されていない産業を生み出す可能性をもつ、未開拓の科学技術研究への助成を行います。産業化される時期は 20 年 30 年後であっても、独自の発想に基づき将来における産業の核、イノベーションの基となるような研究を取り上げ、高い目標をたてて 3 年間思い切った挑戦をしていただきます。世界的・国家的な産業だけでなく、地域の産業創生に貢献する科学技術研究も対象となります。

これらは、激変する社会環境の中で、科学技術の研究はどうあるべきか、また研究者はどうあるべきか、という観点を盛り込み、真に「新しい価値の創出」が期待される独創的な研究活動を助成・支援していこうとするものです。

2019 年度募集の研究助成総額は、「善き未来をひらく科学技術」、「新産業を生む科学技術」の両プログラムを合わせて 3 億円程度を予定しています。

**【問い合わせ先】**

一般財団法人キャノン財団 森岡

TEL: 03-3757-6465、E-mail: [morioka.hiromi@mail.canon](mailto:morioka.hiromi@mail.canon)

**【キャノン財団ホームページ】**

<https://www.canon-foundation.jp/>